

# AMDAに1148万円

## ボランティア貯金配分通知



郵政省の「国際ボランティア貯金」の寄付金の配分先に県内からAMDA(アジア医師連絡協議会)が選ばれ、岡山市の備前一宮郵便局(村野陽治局長)で26日、通知式があった。

金利低下のため、今年度の国際ボランティア貯金の総配分額は約15億7500万円と前年度の約28億1000万円のほぼ半減。AMDAへの配分も1148万円(前年度2241万円)と「NGO受難の年」になった。

AMDAへは6年連続の配分で、累計は約1億635万円。今年度はカンボジ

Aでの診療所建設や医療機器の配備、スーダンでの難民の巡回診療など2事業が対象になった。

通知式では村野局長が「小さな親切を世界の人のために役に立ててください」とあいさつ。AMDAの近藤祐次事務局長は「写真はみなさんの善意を最大限、有効に使わせていただきます」とお礼を述べた。国際ボランティア貯金は通常貯金の受取利子の20%を寄付し、NGOを通して途上国を援助する仕組み。1991年に誕生し、加入者は2000万人を超える。